

防災ヘリコプター更新事業費(平成27年度当初予算額 10,729千円)

■ 運行開始から21年が経過し、機体の老朽化に伴う不具合の発生、交換部品の増高が顕著となっている防災ヘリコプター「みえ」の機体更新を行うとともに、防災ヘリコプターの機能強化を図るため、ヘリコプターテレビ電送システム整備のための設計を行います。



山岳救助に係る
出動件数の増加

南海トラフ地震等大規模災害の
発生の懸念



【更新機体に求められる主な機能等】

- ・ 三重県最高峰 日出が岳(標高1694.9m)での救助にも対応できるホバリング能力
- ・ 大規模災害時等において、迅速・的確に情報収集を行うためのヘリコプターテレビ電送システム

防災ヘリコプターの主な用途

■ 救急活動



■ 救助活動



■ スケジュール

- H27年度 発注、入札、購入契約
- H28年度 機体納入、試験飛行
- H29年度 新機体供用開始

■ 防災ヘリコプター更新事業費

- ・ 機体の購入契約
整備年度 27~28年度
債務負担行為限度額 2,445,476千円
- ・ 映像電送設備整備設計業務委託
整備年度 27年度 予算額 10,729千円
- ・ 映像電送設備工事
整備年度 27~28年度
債務負担行為限度額 884,000千円

機体購入(ヘリ等含む)

H27当初
ヘリ更新
全体経費
約38億

+

- 資機材(電源車、予備PA等)
整備年度 H28年度 440,000千円

ヘリコプターテレビ電送システムの導入

被災地の映像を視聴



迅速・的確な情報収集

地上アンテナ設備



被災地



- ・ 機体の購入契約(ヘリ等含む)
1,678,320千円

+

- ・ 映像電送設備工事
884,000千円
- ・ 資機材
461,000千円

計約30億